



2023年度 ことりぐみ



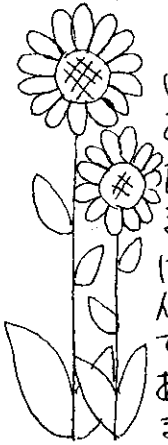
クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

7月20日発行

執筆者 渡菜々子



日差しが強まり、夏を感じるような暑い日が増えてきました。水遊びが始まり、子どもたち。ほ冷たい水が心地良く、心と身体を解放して楽しむ姿が見られます。毎日がとても楽しく、あという間の1学期でした。入園、進級当初、新しい環境や生活にドキドキしていた子どもたちも今ではすっかり年中児の生活に慣れ、好きな遊びを見つけてじゅくりと遊ぶ姿が見られます。友だちと遊ぶ中で、言葉による伝え合いが活発になり、試行錯誤しながら一緒に制作に取り組むなどの深い関わりも見られ嬉しく思います。また、当番活動にも積極的に取り組んだり、自分一人で出来ることが増え、成長を感じます。この1学期で大きく成長した子どもたちです。さあ、いよいよ明日からは楽しい夏休みです。お休みの間も神さまのお守りと恵みがありますように、お祈りしています。1学期の間、保育へのご理解とご協力をありがとうございました。2学期も1人ひとりと丁寧に向き合っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

大盛況!! ハンバーガー屋さん

ホールで積み木を使ったごっこ遊びを楽しんでいた際、「ハンバーガーを作りたい!」というあの子の発信から始まったハンバーガー屋さん。好きな遊びの時間をたっぷり取り、子どもたちと一緒にじゅくり制作に取り組みました。丸めた新聞紙に紙袋や茶色の模造紙を貼りボックスを表現したり、ハンバーガーやタコス、チーズなどはもちろんだ、ハムやベーコン、魚などの具材もそれぞれ好みに合わせて作り、「ウラグもあるぞ!」「ホットケーキも食べたことある!」とその他の商品もどんどん子どもたちからアイデアの発信があり、様々な素材を使って表現することができました。どんなハンバーガー屋さんにするかとワクワクしながら各自牌かせ、友だちと様々なことを共有しつつ制作する姿が頼もしく思えました。そのような子どもたちの主体的な姿を大切にしたいと思い、教師は作り方などを指定せず、必要な材料だけ用意しておき、子どもの様子を見守るよう心掛けました。しかしながら、作りたいもののイメージはできても、それを形にすることはなかなか難しいことです。試行錯誤しつつ、それでも難しい時には教師の手や知恵を借り、そこで得た気づきを基に「自分で作る!」と再び制作に取り組んでいきました。またその中で、正しいほさみの扱いが定着し、複雑な形がどんどん切れるようになってきたり、諦めずに最後まで取り組む姿が見られたり、益々制作が楽しくなり、盛り上がる様子が見られました。そして、たくさんの商品が完成し、お店が開店すると、店員とお客さんに役割分担し、遊びを楽しんだり他のクラスの友だちを誘ったり...更に遊びが広がっていきました。また、遊びが展開していく中でお金やメニューが必要なことに気が付いたり、店員の役割が分かるよう(にエプロンやマイクを作ったり...実際にお客さんに来てもらうことで「もっとこうしたい」「こんなのがあった方がいい」と更に深まっていきました。

この遊びを通して、自分で作る喜びや友だちと協力し合って遊びを進めていく楽しさを十分に味わうことができました。子どもたちの発信をしっかりと受け止め、その思いを実現できるような材料を準備し、一緒に制作を楽しむことを大切にしながら、2学期も子どもたちの遊びを支えていきたいと思っております。



3遊びの中の学びの芽 <エピソード:椅子取りゲーム>

ことり組ではよく椅子取りゲームやフルーツバスケット、宝探しなどの集団遊びが盛り上がります。その中でも特に椅子取りゲームは子どもたちの大好きなゲームの一つ。音をよく聞き、止まった瞬間におく椅子に座ろうとしますが、友だちの方が早かったり、同じタイミングで座わり、じゃんけんでは負けてしまったり...初めの頃は悔しくて泣いてしまうことが殆どでした。しかし、最近では悔しい気持ちとぐんぐんと堪え、離れた椅子にすぐ座わり応援する姿が見られます。思わぬ泣いてしまう子ども「次は頑張る!」と悔しい気持ちをバネに次に活かそうとする姿も見られます。ルールのある遊びを通して、「勝って嬉しい」「負けて悔しい」という気持ちを経験したり、ルールを守ろうとする規範意識が芽生えたり...遊びの中から成長を感じることもできました。

